

一般社団法人えんがお

2023年度事業計画書

期間：2023年4月1日～2024年3月31日



一般社団法人えんがお

〒324-0051 栃木県大田原市山の手1-9-10

TEL 0287339110 E-mail engawa.smile@gmail.com

URL <https://www.engawa-smile.org>

1.2023年度の組織運営計画について

1.ビジョンとミッションの確認

ビジョン ー目指す社会像ー

「誰もが人とのつながりを感じられる社会」

ミッション ー社会的使命ー

- ・高齢者の孤立化の予防と解消ができる地域の仕組みをつくり、実践していく
- ・若者の存在を受け入れ、共に成長できる場をつくる

バリュー ー組織の存在意義ー

- ・人とのつながりの力で、あらゆる社会課題と向き合う

2.基本方針

ミッションの達成を図るため、以下の事項を2023年度の基本方針とする

①「人とのつながりが希薄な高齢者」の掘り起こしと、地域住民との接点の増加

一般社団法人えんがおは、今後も子ども事業などさらに多くの領域への挑戦を進めていく。一方で、法人の価値として最も大切にしているものは、あくまでも「高齢者の孤立の予防と解消」である。

今期は、引き続き対応可能な範囲における孤立高齢者の掘り起こしを進めていく。また、簡易的送迎なども検討しながら、これまでよりさらに広範囲で地域の高齢者との関わりと、その活躍の場を増やしていく。

②組織基盤・事業体制の強化

2023年度は、さらに2人の専門家スタッフが増え、全体で6人のチームとなる。また、アルバイトスタッフは現在13名となり、これまでのつながりの中の採用のみではなくなった。一企業として、労働環境（給与体系・有休制度など）を改めて整備していく必要がある。

また、事業が多岐に渡っていく中で、それぞれの事業に担当スタッフを明確に配置し、責任を持ち、徹底して各事業の質を上げていける体制を作り上げていく。

③社会的立場を理解した発信による波及

当法人は、社会的に一定の注目を得て、多くの人に応援してもらっている企業である。そうした意味での社会的役割をスタッフ全体で認識し、社会に必要な発信を、様々な手段を用いて積極的に行っていく。

また、政策提言や事業モデルの提示、さらには同一領域における中間支援のポジションも意識し、より社会に波及していくための動きを行っていく。

3.行動指針

- ・目の前の人を笑顔にする
- ・求められていることを最大限に楽しく実行する

この二点を指針として、個々の判断で主体的に行動してもらおう。

II.2023年度事業計画（2023年4月～2024年3月）

1.事業計画

事業の種類(定款)	項目	事業名	事業内容・名称(案)	備考(時期・頻度など)	昨年度実績(実人数)	受益者収益及び範囲の目標値(実人数)
生活支援事業	継続	制度外サービス	制度対象外の生活支援	通年	150件 (28世帯)	240件 (30世帯)
世代間交流事業	継続	世代間交流イベント	多世代交流イベントの実施	月1回	6回90人	18回270人
	継続	みんなの家	1階：サロン活動	通年	480人	700人
	継続		2階：学生向け勉強スペース	通年	1617人	2000人
	継続	フリースクール事業	不登校生支援	週1回	登録数5人 310,500円	登録数7人
	新規		放課後児童健全育成事業	週6日		登録者20人
活動促進	継続	講演会	介護予防意識 地域作り促進	依頼時	49件 (2412人)	40件 (3000人)
		学生活動体験者	学生の活動体験受け入れ	通年	延1200人	延1200人
ネットワーク・コミュニティ形成事業	継続	県北若者ラボ	地域活動についての勉強会・会員交流会	月一回	7回 121人	7回 150人
	新規	えんがお荘	若者・学生向けソーシャルシェアハウス	通年		入居者数 5人
	継続	SHARE PLACE てのかご	地域食堂	月2回	22回 (高齢者数139人)	22回 (高齢者数200人)
			シェア店舗	通年	8店舗	30店舗
			レンタルオフィス	通年	2企業	3企業
	新規	ばあちゃんの手料理食堂	一般層向け食堂	月2回	22回	22回
	新規	つながり付き住宅	サブリース	通年	2人	3人
障害福祉サービス事業	継続	障がい者向けグループホーム	共同生活援助	通年	10人	10人
	新規	障がい者向けグループホーム	サテライト型	通年		3人
情報発信・出版事業	継続	情報発信	WEBサイト、SNS(facebook,twitter,Instagram)	通年	3160フォロー	7000フォロー
	継続		えがお通信	隔月	年4回	年4回

2.2023年度の事業スケジュールと概要

1) 2023年度挑戦内容

①放課後児童健全育成事業（学童保育）の運営

概要：えんがおの目指す、全世代が日常的に関わる「ごちゃまぜの地域づくり」に向けて、子ども世代を対象とした制度事業を開設し、高齢者とのつながりを作っていく。

大田原市には、現在学童保育が不足しているとの情報で、追加審議の結果、一年前に準備を始めた。現在の申込者数は5名で、実績値で10名を超えないと市の補助金を得られないことから、2023年度は自費での運営となり、工事費750万円、初年度運営費750万円で約1500万円の赤字運営となる。他事業所の数値より、2024年度には20人の実績値にて年間収入850万円、2025年度には30人の実績値にて年間収入1000万円を想定。数年かけて柱となる事業に育てていく。



②ソーシャルシェアハウスえんがお荘

概要：これまで運営してきた同事業は、すでに法人の活動に参加している学生に限定したシェアハウスであった。利用者は計7名で、一時的な避難所として機能したり、地域活動に集中するための拠点として機能したりした。

利用者の年代やライフステージが変化し、2023年度は空室が増える。また、社会的背景としても「若者の駆け込み寺」のような立ち位置は一定のニーズがあると考えられる。さらに、これから当法人が目指すコミュニティにおいて新規の若者を巻き込むきっかけとしても、外部から新規人材が入居できる入り口は必要となる。以上のことから、これまで関わりのなかった人も入居ができる「ソーシャルシェアハウス」として再度運営を開始する。

③つながり付き住宅

別紙資料（つながり付き住宅チラシ）参照。

2) 事業担当配置（理事会専用欄）

各事業の底上げに向けて、担当領域を明確化していく。別紙参照。

3) 政策金融公庫による融資について

2023年度の支出を想定し、臨時の際に備えて500万円の融資を受けることを検討。
500万円47回払い、金利1.38%、一年間据え置きにて借入を行う。